

商品番号 6422

CSサンド

- 1. 一般名** コンクリート接触面表面調整剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴
- 1) 無機・有機ジンクリッヂペイントや亜鉛めっきとの密着性に優れている。
 - 2) フレッシュコンクリートとの密着性に優れている。
 - 3) 粉体に水道水を添加する形態であり調合作業が容易である。
 - 4) 有機溶剤を含まない水系非危険物で安全性に優れる。

4. 性状

項目		内容					
容姿		1粉末					
荷姿		15 kg					
色相		コンクリート色					
密度	粉体	1.51 (23°C)	温度	5°C	10°C	20°C	
乾燥時間	指触	45分		30°C	30°C	40°C	
	半硬化	120分		110分	100分	95分	
引火点		非該当					
発火点		非該当					
爆発限界		非該当					

上記性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 施工面の粉化物、塩分、油脂、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 攪拌は動力攪拌機を用い、上水に対して徐々に粉末を混入し、塊が残らないよう十分攪拌する。攪拌時間の目安は、粉体を全て投入後から約2分間とする。
- (3) 攪拌機はステンレス製を用い、アルミニウム製は用いない。
- (4) 材料の混合後は可使時間以内に使用する。途中、上水の追加は禁止する。
- (5) 高湿度時(85RH%以上)は乾燥時間が遅延し、白化やダレ等の不具合を生じるため、施工中及び乾燥過程においては十分な換気を行う。
- (6) 使用量管理(空缶管理)を基本とし、wet膜厚管理は参考値とする。
- (7) 参考にwet膜厚管理を行う場合は、wet膜厚200μm以上を目安とする。
- (8) 乾燥膜厚管理は、表面凹凸が激しいため不適であることから設定しない。
- (9) 厚膜時はクラックが生じる恐れがあるため注意する。
- (10) エアレス塗装機は指定のものを用いる。
- (11) 機器の洗浄は上水を用いる。一度硬化すると洗浄が困難なため、こまめに洗浄を行う。特にエルボー部やピストン部などは汚れが溜まりやすいため、丁寧に十分に洗浄を行う。
- (12) 施工に際しては「施工要領書」を併せて参照する。
- (13) 材料の保管は冷暗所で行い、床面から離れた状態でビニールシートなどで覆って保管する。
- (14) 有効期間は製造後6ヶ月間である。

5. 塗装基準

項目		内容							
下地処理		無機・有機ジンクリッヂペイント面:清掃 亜鉛めっき面:スイープブラスト処理(ISO Sa1)							
調合法 (粉末100/上水 ^{※1})		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C			
		24~30							
可使時間(分)		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C			
		120	90	60	40	20			
温度・湿度の制限		気温5°C以上 40°C以下、湿度85%RH以下							
希釈・洗浄剤		上水							
塗装法	塗装方法	エアレス		刷毛・ローラー					
	標準使用量	0.85 kg/m ²		0.65 kg/m ²					
	標準膜厚	—							
	wet管理膜厚	— ^{※2}							
エアレス塗装条件 ^{※3}	1次圧: 0.2MPa (2kg/cm ²)以上								
	2次圧: 6.4 MPa (64kg/cm ²)以上								
	チップNo. 5125、5140 (SEIWA)								
	推奨粘度: 10~20dPa·S (リオン粘度計)								
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C			
	最小	1日							
	最大	6ヶ月							

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる

※1) 粉末100に対する上水の外割り添加量(重量比)

※2) 200μm以上(参考値)

※3) エアレス機はWIWA社35032を用いる

7. 関連法則

危険物表示	—
有機溶剤区分	—
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2023.09